

ひろしま県民いきもの調査

主催：広島県（自然環境課）・協力：広島大学 竹原ステーション

ひがたかんさつかい ハチ干潟観察会

生きた化石カブトガニを見に行こう！

開催日：2019年8月31日（土） 14:00～17:00（13:30 受付開始）

雨天延期：雨天の場合は10月に延期する予定です。

開催場所：竹原市 ハチ干潟

集合場所：広島大学 竹原ステーション（水産実験所）

広島県竹原市港町 5-8-1

< 観察会の内容 >

① 干潟の生きものの観察

竹原市の賀茂川河口部の周辺には「ハチ干潟」と呼ばれる広大な干潟が広がっています。多くの希少な生きものが生息し、カブトガニの繁殖地としてたいへん重要な場所です。今回の観察会ではカブトガニの幼体を観察する予定です。さまざまな生きものを実際に見て、この大切な干潟を守っていく意味を考えてください。

② 「ひろしま県民いきもの調査」の紹介

広島県では生物多様性を守るため、県民のみなさまから生きものの情報を集めて、生態系の変化に注目しています。その取り組みを紹介し、情報を集めるための環境省「いきものログ」の使い方を説明します。

対象 生きものに関心がある小学生以上の方。

ただし小学生は保護者同伴。

定員 約30名 参加費：無料



カブトガニの幼体

参加申込み：メールまたは電話にてお申込みください。 申込み締め切り 2019年8月28日

メールの場合は、「氏名、年齢、住所、連絡先：メールアドレスまたは電話番号」を記入してください。

（お伝えいただいた個人情報は、観察会に関する連絡と保険加入に使用します。）

連絡先：一般財団法人 広島県環境保健協会 環境保全課

担当：和田秀次 E-mail: shuji.wada@kanhokyo.or.jp Tel: 082-293-1580

< 服装・持ち物 >

活動しやすい服装 水にぬれる場合があります。また、日差しが強いのので**長袖シャツ**、**帽子**が必要です。

※なお、観察会終了後は竹原ステーションで着替えができます。シャワーもあります。

ぬれても、泥で汚れてもいい靴 干潟を移動するときに水のなかを歩くことがあります。替え用の靴を持参することをおすすめします。**軍手** 磯のカキ殻などでケガをしないように手袋が必要です。

※大人用のマリンブーツ（24 cm 以上）は竹原ステーションから貸し出しできます。

スマートフォン（いきものログの登録等に使用）や**デジカメ**

スケジュール

13:30 ~	受け付け 竹原ステーション玄関前	
14:00 ~ 14:15	「ひろしま県民いきもの調査」の紹介 環境省「いきものログ」の使い方など	竹原ステーション
14:20 ~ 14:50	ハチ干潟の生きものの解説とカブトガニの話 講師：大塚 攻（広島大学 教授）	
< 移動 >		
15:10 ~ 17:00	干潟観察会 竹原ステーションへ移動後、解散	ハチ干潟

交通・アクセス



場内に駐車場があります。

JR 竹原駅下車、徒歩で約 30 分

芸陽バス三原行き 的場下車 徒歩で約 1 分

※公共交通機関等で来られた方は、干潟までクルマで送迎します。



竹原ステーション（水産実験所）の入口

【注意事項】

- ・観察会では活動中の写真を撮影します。撮影した画像は広島県や広島大学の広報に掲載させていただく場合があります。不都合がある場合はお伝えください。
- ・本プログラムは野外観察が主体であるため、参加者自身が安全や健康管理に十分配慮することを前提にご参加ください。なお、万一に備えて主催者費用で傷害保険に加入します。
- ・天候不良などによる中止の場合は、申込み時の連絡先にお知らせします。